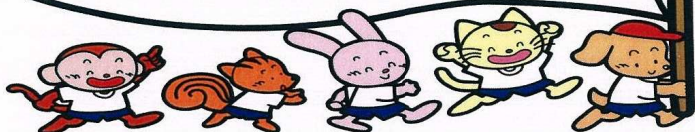


矢祭子ども司書だより

平成23年5月6日 第12号
矢祭もったいない図書館
発行責任者 館長 金澤 昭
〒963-5118
矢祭町大字東館字石田25
TEL0247-46-4646

子ども司書会議を開いたよ



4月23日の土曜日に、矢祭子ども司書1期生と2期生が集まって、これからの活動を話し合う「子ども司書会議」を開きました。18名が参加して、回りの人たちに読書の楽しさを伝えるリーダーとして、活動していこうという思いを新たにしました。

1期生は、1年間をふり返って、印象に残った活動を話してくれました。

- ◎郡山で開催された絵本ワールドで、読み語りに参加したこと
- ◎おはなし会の勉強会に参加したこと
- ◎夏休みに子ども司書の研修旅行に参加したこと
- ◎せせらぎ荘で読み語りをしたこと
- ◎中学校のボランティアで読み語りをしたこと
- ◎図書館のおはなし会で本を読んだこと

そして、ひとりひとりがこれからの抱負を話してくれました。

- ◎いろいろな所で読み語りをしたい
(もったいない文庫、保育所、幼稚園、児童クラブ、文化祭など)
- ◎被災地にもおはなしを届けに行きたい
- ◎図書館の仕事のお手伝いをしたい
- ◎学校の図書室の整理をお手伝いしたい
- ◎今年も俳句スクールに参加したい
- ◎去年は活動できなかったから、今年がんばって活動したい

他にはどんな活動ができるでしょうか。みなさんの活躍を楽しみにしています。

読んでみてね

ロッタちゃんどじてんしゃ

(アストリッド・リンドグリーンさく)

ロッタちゃんはもうすぐ5オになる女の子。お姉ちゃんたちのような自転車がほしくてたまりません。そこで、あるわるだくみをするのですが…。

わがままでやんちゃだけれど愛らしいロッタちゃんのこと、いちど読んだらきっと大好きになりますよ。他にも「ロッタちゃんのひっこし」「ちいさいロッタちゃん」「ロッタちゃんとクリスマスツリー」があります。

子ども司書手帳

今回配布した緑色の「読書推進リーダー・子ども司書手帳」は、子ども司書の認定を受けた33名だけに手渡されたものです。
色々な場面で、読書の楽しさを伝える活動の記録を残しておきましょう。
図書館や教育委員会の活動だけでなく、学校や地域での活動も書き込むことができます。必ず持参して、担当の人に確認の印(サインでもOK)をもらってください。活動の数に応じて、初級リーダー(20回)・中級リーダー(40回)・上級リーダー(50回)の奨励賞(しょうれいしょう)がおります。

5月のおはなし会の予定

おはなし会の予定は次のとおりです。参加を希望する人は図書館へ連絡してください。(電話46-4646)

5月14日(土) 図書館おはなし会

場所：図書館
時間：午後2:00～3:00
集合：午後1:00

5月15日(日) 文庫おはなし会

場所：下関集会所
時間：午前10:00～11:00
集合：午前9:00 図書館

どちらも
ぼしゃうは
子ども司書2名
です!

キャラバンカーおはなし会 in 三郷

6月18日(土)に、埼玉県の三郷市(みさとし)へキャラバンカーがお出かけして、おはなし会を開きます。三郷市には、福島県広野町から避難している方が300人程生活していることから、矢祭キャラバンカーで応援に行くことになりました。

子ども司書のみなさんにも参加していただいて、お手伝いをお願いしたいと思います。広野町の子どもたちだけでなく、地元の瑞木小学校(みずきしょうがっこう)の子どもたちとの交流も予定しています。

朝8時ごろ図書館を出発して、夕方6時ごろ矢祭にもどる予定です。子ども司書のみなさん、ぜひ参加してください!
(希望者は図書館へ連絡してください)



矢祭子ども司書だより

平成23年4月10日 第11号
矢祭もったいない図書館
発行責任者 館長 金澤 昭
〒963-5118
矢祭町大字東館字石田25
Tel.0247-46-4646

子ども司書 全員集合！

桜の季節になりました。希望にあふれる新生活がスタートしましたが、子ども司書のみなさんは元気ですか？

今年の2月に、子ども司書の認定を受けて19名の新しい子ども司書が誕生しました。そこで、第1期と第2期の子ども司書の認定を受けたみなさんに集まってもらって、「子ども司書会議」を開きます。「子ども司書会議」では、これから図書館の子どもサポーターとして活躍していくための活動について話し合いたいと思います。

全員の参加を待っています！

日時：4月23日(土) 午後1時～2時

場所：矢祭町中央公民館 2階

*もし参加できない時は、図書館まで連絡してください
(電話46-4646→担当・下重)

4月23日は「こども読書の日」

4月23日(土)は「こども読書の日」。大人の人と子どもたちに、もっともっと本となかよしになってもらうために、図書館で**おはなし会**を開きます。

キャラバンカーもオープンしますよ。

子どもサポーターのみなさんに、ぜひ協力してほしいと思います。

おはなし会は、11:00～12:00に開きます。

読み聞かせに参加できる人は、4月17日までに図書館に連絡してください。

当日参加できる人は、おはなし会の準備のために

午前9時 集合になります。

お電話、待っています！

今、矢祭もったいない図書館ができること

3月11日の大地震から早いもので1ヶ月が過ぎました。今でも余震が続いていて、原子力発電所の事故のニュースに不安な日が続いています。こんな時だからこそ、図書館がみんなのほっとできる場所になりたいものです。

1. ひなん所にもったいない文庫

矢祭町の山村開発センターでは、町外からひなんされた方が生活をしています。自宅をはなれ、不自由な思いをされているひなん所の方たちに利用してもらおうと、図書館から「**もったいない文庫**」として**180冊**の本を届けました。

2. 矢祭キャラバンカー

矢祭キャラバンカーは、山村開発センターにオープンして、ひなんしている子どもたちの楽しみの場所となってきました。

今回の震災では、他の地域にも不自由なひなん生活をされている方たちがたくさんいます。矢祭キャラバンカーは、各地のひなん所にも出かけていく予定です。子ども司書のみなさんも、ぜひご協力ください。

3. 本でおうえん

3月22日に県内の**相馬市**に向けて、絵本や児童書**145冊**を送りました。矢祭からの絵本が、ひなん所の子どもたちを応援できればうれしいですね。

読んでみよう！

「百年の家」

(J.パトリック・ルイス/作、ロベルト・インノチェンティ/絵)

この本の主人公は石で作られた古い家。山の中に忘れさられていたところを、ある日、子どもたちが発見します。それから100年の間、この家は、人々の喜びと悲しみ、出会いと別れを見ていくのです。

まるで美術館の絵のように、細かい部分までていねいにえがかれていながら、あたたかみを感じる見事な絵。

人間の生きる力を感じる絵本です。

